

### 第3回開発資金国際会議、サイドイベント

#### 「開発資金（FfD）と質の高いインフラ投資の促進」

城内外務副大臣開会挨拶

2015年7月13日

アルケベ・エクバイ首相顧問閣下、

ハイレマスカル・テフェラ国務大臣閣下、

テクレツァディク・レバ国務大臣閣下、

シナタンブー外務・地域統合・国際貿易大臣閣下、

御列席の皆様、

本日は、エチオピア政府、フィリピン政府、そして日本政府共催の「開発資金（FfD）と質の高いインフラ投資の推進」のイベントに皆様をお迎え出来ることを大変嬉しく思います。

質の高いインフラの整備は、今日では、世界中の政府やステークホルダーによって、皆が共有する目標であると認識されています。これはアジスアベバ行動計画の現在の案文にも反映されているとおりです。この文書において、会議への参加国や機関は、「資金面の支

援や技術支援の強化を通じて、途上国における持続可能で、アクセスが容易で、強靱な質の高いインフラの整備を促進する」ことにコミットすることとなっています。

同じように、昨年、北京で、APEC の首脳は、APEC 連結性ブループリントという文書の中で「質の高いインフラを整備し、維持し、そして新しくしていく」ことにコミットしました。G20 の首脳は、豪州ブリスベンで「公的な、そして民間の質の高いインフラ投資を引き上げていく」ことにコミットしました。このような例は枚挙にいとまがありません。

それでは、なぜこれほどまでに「質の高いインフラ」への国際的な関心が高まっているのでしょうか。

この問いに答えるにあたっては、インフラの整備については、それ自体が目的ではないことを改めて確認すべきでしょう。インフラ整備は目的を実現するための手段です。私たちが目指すゴールは、包摂的で、持続可能で、強靱な、あらゆる人々のための成長を実現

することです。

だからこそ、インフラの整備は、地方、国家、地域レベルでの開発戦略と統合的で、これらの戦略に貢献する形で行われなくてはなりません。連結性の観点や、長い目でみた費用対効果、値段に見合っているか否か、といった観点も非常に大切です。さらに安全性、自然災害に対する強靱性、地元の自然環境との調和、そして地元のコミュニティの人々の生活への貢献の観点も極めて重要です。

民間からの資金動員を含め、効果的に資金を動員することも同じく重要です。だからこそ、能力強化の取組や、ビジネス、地方政府、市民社会を含む様々なステークホルダーを広く包含するパートナーシップを発展させていく取組が非常に大切なのです。

世界中の政府機関や、地域機関、国際機関がこうしたインフラ開発の必要性を認識し、積極的に取組を進めていることは、大変喜ばしいことです。

我が国政府において、質の高いインフラ投資は、長年に亘り、開

発協力政策の最優先事項の1つであり続けてきました。このことは、例えば、2013年の第5回アフリカ開発会議（TICAD V）で、日本がアフリカのインフラ開発に5年間で65億ドルを支援するというコミットメントを表明したことにも示されています。その後、このコミットメントは着実に実施され、アフリカにおいてすでに具体的な成果となって現れています。今後、アフリカの潜在力を更に引き出していくためには、適切なインフラの整備を通じて地域の連結性を高めていくことが極めて重要です。このことは、現在、アフリカにおける日本の優先的取組にも反映されています。例えば、地元自治体の出入国管理のプロセスを劇的に合理化して短縮するための施設整備や能力向上の支援や、港湾、道路やエネルギー供給のためのインフラの整備によって広域の連結性を強化することを目指した10ものマスタープランを共同で策定し、実施していく取組も含まれます。2016年に開催が予定されている次回のアフリカ開発会議（TICAD）においてもインフラが主要な焦点の1つとなることは間違いありません。

先日発表された ADB とのパートナーシップの下でのアジアのための1100億ドルのインフラに関するイニシアティブも、日本の政策の重点を示す最近の例の1つです。このような取組は、日本企業の質

の高い技術力に裏付けられた、日本のアジアでの質の高いインフラ整備の長年にわたる実績に基づくものです。本日のイベントには、日本企業の関係者の方々の参加も得ており、後ほど現場の経験を紹介していただきます。このような企業が、将来、アフリカ、さらにはアフリカ以外の地域において、質の高いインフラの整備に貢献していくことになります。

それでは、今後、私たちが取り組むべき課題は何なのでしょう。数ある様々なインフラ関連のイニシアティブが、相互に整合的で、一貫性のあるものとなれば、それぞれの効果は一層高まります。そのためには、あらゆる関係者の間でベスト・プラクティスや教訓を共有していくことが有益でしょう。質の高いインフラ投資の意義について、説得力があり、明快な論理や説明のラインを整えていくことも、様々なイニシアティブの間の相互の整合性や一貫性、また、それぞれの取組をより効果的なものとすることに役立つでしょう。

本日のイベントには、世界中から政治指導者の方々、また、政策・ビジネスの専門家の方々など、素晴らしい方々にスピーカーとして

ご参加いただいています。本日のイベントは、必ずや、私たち全員にとって、将来の課題をよりよく理解するためのまたとない機会となることを確信しております。また、開発資金国際会議（FfD）における私たちの議論、更には有意義なポスト 2015 開発アジェンダの策定に向けた私たちの取組にとっても、価値ある貢献となることを確信しております。

御清聴ありがとうございました。